報告記

第3回小中学生向けテキスタイルセミナー “布フェスタ in 京都－布ってこんなに○○だ！－”

前川善一郎 MAEKAWA Zenichiro
日本繊維機械学会フェロー

写真1　本セミナーを支えた仲間たち

1. これまでの経緯

フェロー会の活動の一つとして，フェロー会が社会に対して行う活動があり，小中学生向けテキスタイルセミナーの企画が立てられた．

第1回小中学生向けテキスタイルセミナー“ステナイディア・ファイバーフェスタ2014”が，国崎クリーンセンター「ゆめほたる」（兵庫県川西市国崎字小路13，一庫ダムの近くにある）で，2014年3月21日に行われた．延べ約400人の小中学生と父兄が参加した．

さらに，第2回小中学生向けテキスタイルセミナー“ステナイディア・ファイバーフェスタ2015”が，同じく国崎クリーンセンター「ゆめほたる」で，2014年3月22日に行われ，約440人の参加者を得た．

「ゆめほたる」は，一市三町（兵庫県川西市・猪名川町，大阪府豊能町・能勢町）が設置した施設で，ごみ問題をはじめとする環境問題について，次世代を担う子供達を中心に啓発事業を展開している．そこで，「ゆめほたる」と日本繊維機械学会が共催するにあたり，「ゆめほたる」設立のコンセプトである“ゴミを安易に捨てない”造語から，“ステナイディア・ファイバーフェスタ”のタイトルが生まれた．

第1回および第2回小中学生向けテキスタイルセミナーの詳細は，本学会誌（67巻5号，p329，68巻8号，p494）に，報告記として詳細に記載されている．

表１　第３回小中学生向けテキスタイルセミナーの構成とメンバー名
実行委員会委員長（◎印）　実行委員会委員（●印）　フェロー（F）

	氏名	テーマ	開催場所
1	◎木村照夫（F） 京都工芸繊維大学学生（4名）	紙漉き体験	リサイクル工房（3F）
2	内丸もと子	３R繊維製品	シアターホール（１階）
3	●越智清一（F） 藤井明彦（東レ） 勝圓　進（倉敷紡績）	機能性繊維	シアターホール（１階）
4	●中村　信（F） ●和田邦身（F）	服地・布拡大体験	シアターホール（１階）
5	●吉田誠一（F） 矢井田修（F） ●福岡登久治（F） 迫部唯行	不織布	シアターホール（１階）
6	●萩原理一 ●神野友香子（F） 萩原章司 西尾友子	板じめ染め体験	エコ厨房（3階）
7	中嶋恵子 早弓恵美子	天然繊維 （綿・羊毛）	シアターホール（１階）
8	●一田昌利 京都工芸繊維大学学生（1名）	天然繊維 （絹）	畳コーナーホール（１階）
9	●樋口恒樹（織彦・染織八匠会）	着物	畳コーナーホール（１階）
10	●岡本陽子（F） 神戸女子大学学生(20名)	ファッションショー	ホール（１階）
11	●前川善一郎（F）	Ｔシャツ材料展示	ホール（１階）
12	◎木村照夫（F）	繊維リサイクルコンペ作品	ホール（１階）
13	●前川善一郎（F） 事務局　（高平恭護）	全体まとめ 全体まとめ、写真報道	

2. 第３回小中学生向けテキスタイルセミナー

次世代の日本を担う小中学生に繊維のすばらしさを伝えることは，繊維に係わる学会の重要な仕事の一つであると考えられる．そして，繊維のすばらしさを伝える伝道師は，繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をして，繊維のすばらしさを熟知し，時間のゆとりも比較的あるフェローが適任であると考えられる．これが，フェロー会が主体となって，これまで２回の小中学生向けテキスタイルセミナーを開催するに至った理由である．

第３回小中学生向けテキスタイルセミナーは，京都で，京都市ごみ減量推進会議と京エコロジーセンターと連携して行われた．京都市ごみ減量推進会議は，ごみを減らし，環境を大切することを目標にして，京都市民，事業者，行政の三者が協働して，平成８年11月に発足した団体である．一方，平成９年12月に京都市で行われた地球温暖化防止京都会議（COP3）によって京都議定書が採択されたが，これを記念して，京エコロジーセンターが，環境学習と環境保全活動の拠点として開設された．京エコロジーセンターは３階建てで，建物全体がエコ展示になっている．

京都市ごみ減量推進会議は，京エコロジーセンターと共同して，ごみを減らし，環境を大切する活動を積極的に行っている．その活動の一環として，3R推進月間イベントである「布フェスタ in 京都」が行われた．日本繊維機械学会フェロー会は，その趣旨に賛同して，「第３回小中学生向けテキスタイルセミナー」として，本企画に積極的に参画することになった．

最初に，日本繊維機械学会フェロー会に，本セミナー実行委員会を設置し，実行委員長に木村照夫フェローを選出し，本セミナーまとめ役として前川善一郎フェローが就任した．

「布フェスタ in 京都」イベントを進めるにあたり，本イベントに協力する部門の代表者から成る推進委員会が設置されたが，本学会からは木村照夫実行委員長と前川善一郎フェローが参加して進められた．

小中学生向けテキスタイルセミナーでは，繊維を子供たちに興味ぶかく学習してもらうために，繊維のすばらしさを伝える伝道師として，「Mr. ファイバーマン」を登場させ，赤色のブルゾンを身につけ，子供たちに繊維知識をより身近に感じてもらう色々な工夫をしているが，第３回セミナーもその伝統を踏襲した．

「布フェスタ in 京都」は，2015年10月25日，京エコロジーセンター（京都市伏見区深草池内町）全館

（3 階建て）で盛大に行われた．本イベント開催に当たり，協力した団体・企業数は 40 ケに上っている．

本イベントの市民の関心は大きく，894 名の小中学生と父兄が本イベントに参加し，盛況なイベントとなった．

3. セミナーの内容

「布フェスタ in 京都」のテーマとして，“身の回りのものにたくさん使われている布．布はどこからやってきて，どこへ行くのかな．色んな楽しいブースを体験してみよう！”が標榜された．

このテーマの元に，日本繊維機械学会が，小中学生向けテキスタイルセミナーとして，12 ケのコーナーを設け，約 50 名弱のメンバーが奉仕をした．本セミナーの構成とメンバー名を表 1 に示す．さらに，メンバーの集合写真を写真 1 に示す．

さらに，「布フェスタ in 京都」の副題として“布ってこんなに○○だ!”が掲げられた．色んな○○が存在するが，この○○は，参加者にアンケートを取り，参加者に考えてもらうことになった．その結果，参加者から 65 通りの多岐にわたる回答を得た．

(1)「ジーパンで手すきはがきを作ろう」コーナー

リサイクル工房室（3 階）において，京都工芸繊維大学の木村照夫教授，木村研究室所属学生（4 名）によって，ジーパンが手すきはがきに変身する紙すき体験を行い，16 名の参加者が紙葉書を作成した（写真 2）．

写真 2　「ジーパンで手すきはがきを作ろう」コーナー

(2) 廃材からこんなものが「3R を目指した繊維製品展示」コーナー

シアターホール（1 階）において，京都工芸繊維大学内丸もと子氏を中心として，廃材や京野菜から作られた，マグネットバーや紙など 3R を目指した繊維製品が多数展示された（写真 3）．

写真 3　「3R を目指した繊維製品展示」コーナー

(3) 服地で健康診断 !?「機能性繊維」コーナー

シアターホール（1 階）において，越智清一フェロー，藤井明彦氏（東レ），勝圓進氏（倉敷紡績）によって，健康診断できるウエアラブル服地や，表撥水 / 裏給水加工生地の展示を行った（写真 4）．

写真 4　「機能性繊維」コーナー

(4) きみの服地は，どんなかお？
拡大して見てみようコーナー

シアターホール（1 階）において，中村信フェローと和田邦身フェローによって，参加者の服地の拡大組織をディスプレイ上に示し，織物の複雑な組織を学習してもらった（写真 5）.

写真 5　服地拡大コーナー

(5) 紙おむつの中はどうなっているの？
「不織布」コーナー

シアターホール（1 階）において，吉田誠一フェロー，矢井田修フェロー（フェロー会委員長），迫部唯行氏（ユニチカ）によって，紙おむつなどの実験を行い，不織布の大きな展望を学習してもらった（写真 6）.

写真 6　「不織布」コーナー

(6) 板じめ染めで，あい色オリジナルハンカチを
つくろうコーナー

エコ厨房室（3 階）において，萩原理一氏（萩原産業），神野友香子フェロー，萩原章司氏，西尾友子氏によって，板じめ染め体験をしてもらい，18 名の実験者が，あい色オリジナルハンカチを作成した.

写真 7　板じめ染めコーナー

(7) 自然の恵みはすばらしい！
天然繊維（綿・羊毛）コーナー

シアターホール（1 階）において，中嶋恵子氏（中嶋プランニング），早弓恵美子氏によって，31 名の参加者が綿と羊毛の糸つむぎ体験を行い，糸つむぎ作品を作成してもらった（写真 8）.

写真 8　天然繊維（綿・羊毛）コーナー

(8) 自然の恵みはすばらしい！
天然繊維（絹）コーナー

畳コーナー・ホール（1 階）において，一田昌利氏（京都工芸繊維大学），京都工芸繊維大学学生（1 名）

によって，38 名の参加者が繭の糸繰り体験を行い，糸繰り作品を作成してもらった（写真 9）.

写真 9　天然繊維（絹）コーナー

(9) 着物が変身！仮想空間でびっくり !! 着物コーナー

畳コーナー・ホール（1 階）において，樋口恒樹氏（織彦，染織八匠会）によって，想いを形に，きものを新しい形に作り変えるをコンセプトにして，仮想空間で表現したり，出来上がった屏風などの製品を展示した（写真 10）.

写真 10　着物コーナー

(10) きもの・Re:make ファッションショー

ホール（1 階）において，岡本陽子フェローと神戸女子大学学生 (20 名) によって，ファッションショーが 3 回（各 30 分）が行われた．着物をリメイクした衣装を着た学生が出演した.

ショーに先立ち，前川善一郎フェローによって，着物が 3R の観点からすぐれた製品である説明がなされた（写真 11）.

写真 11　ファッションショー

(11) Tシャツ1枚作るには？ 服の原料を知ろうコーナー

ホール（1階）において，綿・羊毛・絹でTシャツを作るのに必要なコットンボール，羊毛，繭を展示して，参加者に原料を実感してもらった（写真12）．

写真12　Tシャツ原料展示コーナー

(12) 繊維リサイクルアイデアコンペィション2015 優秀作品展示コーナー

ホール（1階）において，2015年に行われた繊維リサイクルアイデアコンペィション2015優秀作品が展示された（写真13）．

写真13　繊維リサイクルアイデアコンペィション2015 優秀作品展示コーナー

4. 今後の展望

これまでに小中学生向けテキスタイルセミナーが3回行われたが，どのセミナーも盛況で，繊維材料のすばらしさを参加した小中学生に伝えられたと思われる．本セミナーでも，木村照夫実行委員長はじめ，多くのフェローやセミナー奉仕者のボランティア活動によって成し遂げられた．また，多くの企業より，材料やお土産を提供していただいた．木村実行委員長は，「布フェスタ in 京都」全体を統括する推進会議のメンバーとなり，準備段階から精力的に活動された．さらに，矢井田修フェロー会委員長も開催当日にボランティア活動に従事し，フェロー会一丸となった活動となった．ここに衷心より感謝申しあげる次第である．

これまでの日本繊維機械学会は，繊維材料のエンドユーザである小中学生・保護者などに直接，繊維材料のすばらしさを伝える努力をしてこなかったが，小中学生向けテキスタイルセミナーが企画され，3回の活動から少しずつ成果が上がりつつある．そこで，本セミナーをこれからも続けていくことが，本学会において重要であると考えられる．

5. 謝　辞

第3回小中学生向けテキスタイルセミナー「布フェスタ in 京都-布ってこんなに○○だ!」の開催に際しまして，下記の企業・団体から御展示，御提供を頂きました．ここに感謝の意を表します．

旭化成せんい（株）
（株）エヌ・ティ・シー
オーミケンシ（株）
金井重要工業（株）
倉敷繊維加工（株）
倉敷紡績（株）
クラレクラフレックス（株）
繊維リサイクル技術研究会
東レ（株）
（有）中嶋プランニング
日本バイリーン（株）
日本不織布協会
萩原産業（資）
ユニチカ（株）

第３回小中学生向けテキスタイルセミナー布フェスタ in 京都実行委員会

フェロー（実行委員長）
木村　照夫（京都工芸繊維大学）

フェロー（実行委員）
前川善一郎（前フェロー会委員長）
越智　清一（繊維評価技術協議会）
中村　　信（ダイキン工業）
矢井田　修（フェロー会委員長）
和田　邦身（元カケンテストセンター）
岡本　陽子（神戸女子大学）
神野友香子（神野技術士事務所）
福岡登久治（元ユニチカ）
吉田　誠一（元クラレ）

協力委員
一田　昌利（京都工芸繊維大学）
内丸もと子（京都工芸繊維大学）
勝圓　　進（倉敷紡績）
迫部　唯行（ユニチカ）
西尾　知子
萩原　理一（萩原産業）
樋口　恒樹（織彦・染織八匠会）
神戸女子大学生（20 名）
京都工芸繊維大学　一田研究室学生（1 名）
小田　涼太（三晶）
京都工芸繊維大学　木村研究室学生（3 名）
中嶋　恵子（中嶋プランニング）
萩原　章司（萩原産業）
早弓恵美子
藤井　明彦（東レ）

前川善一郎（まえかわ ぜんいちろう）

工学博士，1963 年，大阪大学工学部精密工学科卒業，1970 年～2002 年，大阪市立大学と京都工芸繊維大学において，主として繊維材料に関する研究・開発に従事．2003 年～2009 年，平安女学院大学生活環境学部教授，2009 年より京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター特任教授．2002～2005 年，日本繊維機械学会会長，2008 年，日本繊維機械学会フェロー，1997～2008 年，日本繊維機械学会“染織品と染織文化財研究会”委員長を歴任して日本繊維機械学会の活動に従事している．